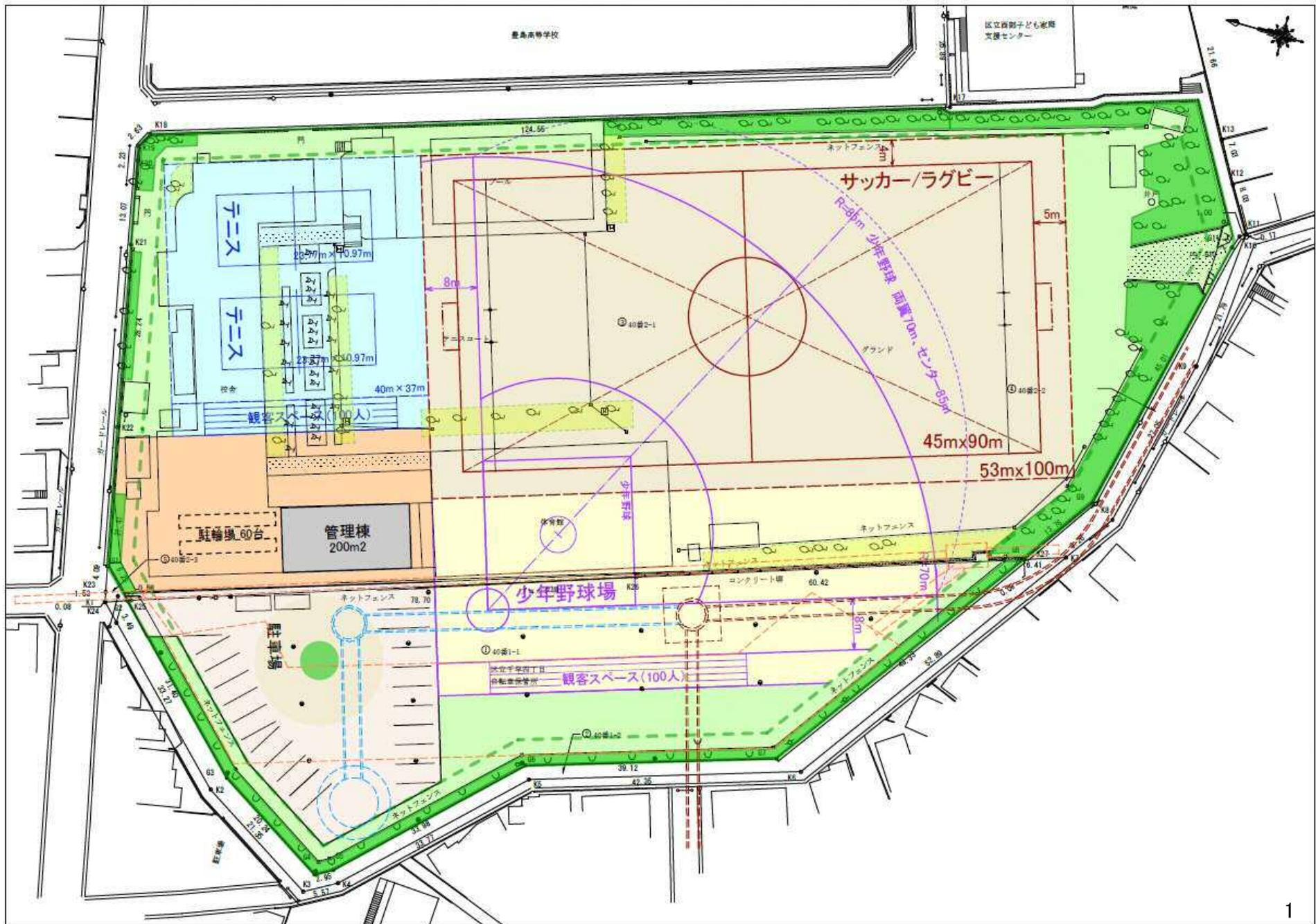
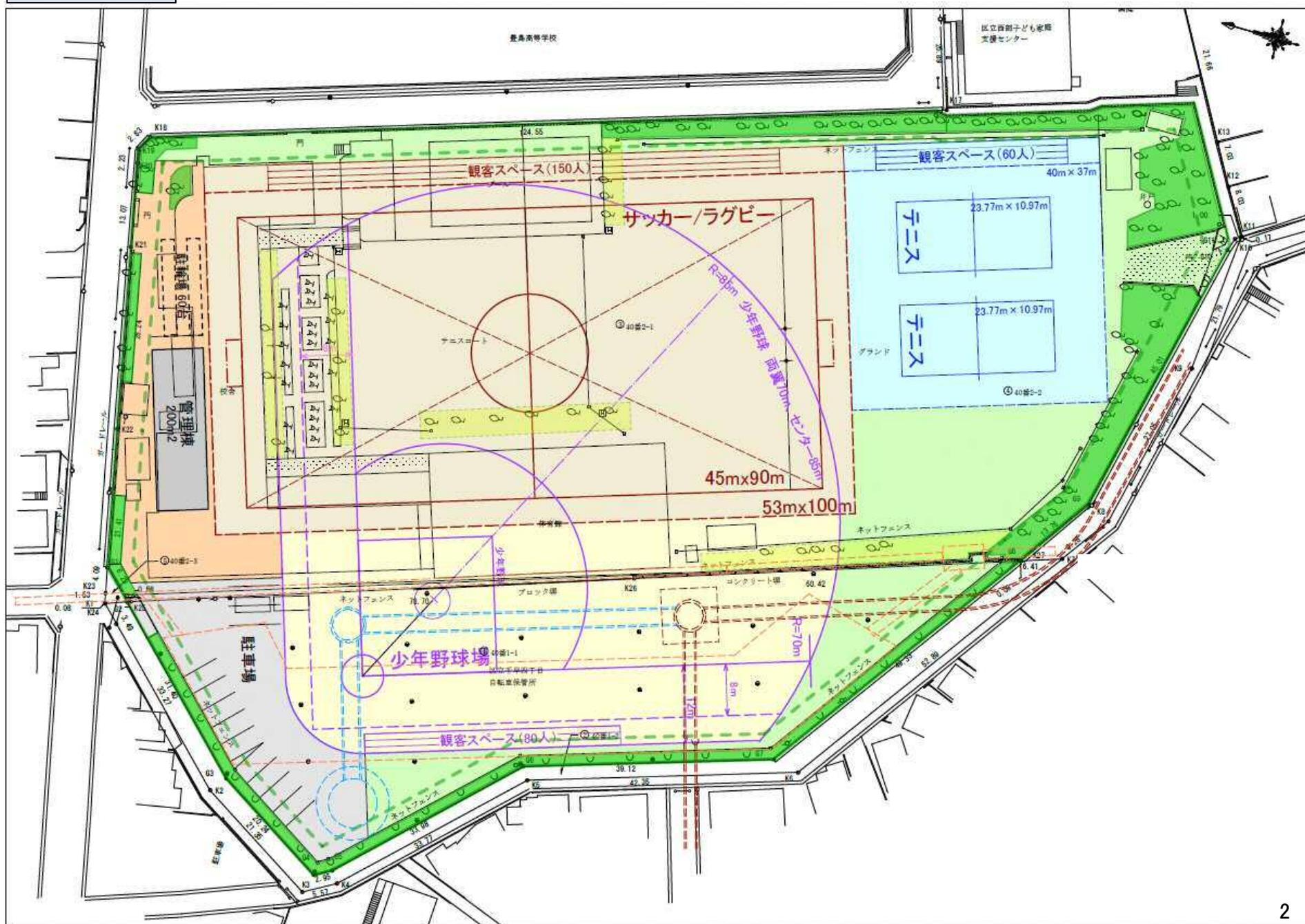


野外スポーツ施設 レイアウト（素案）について

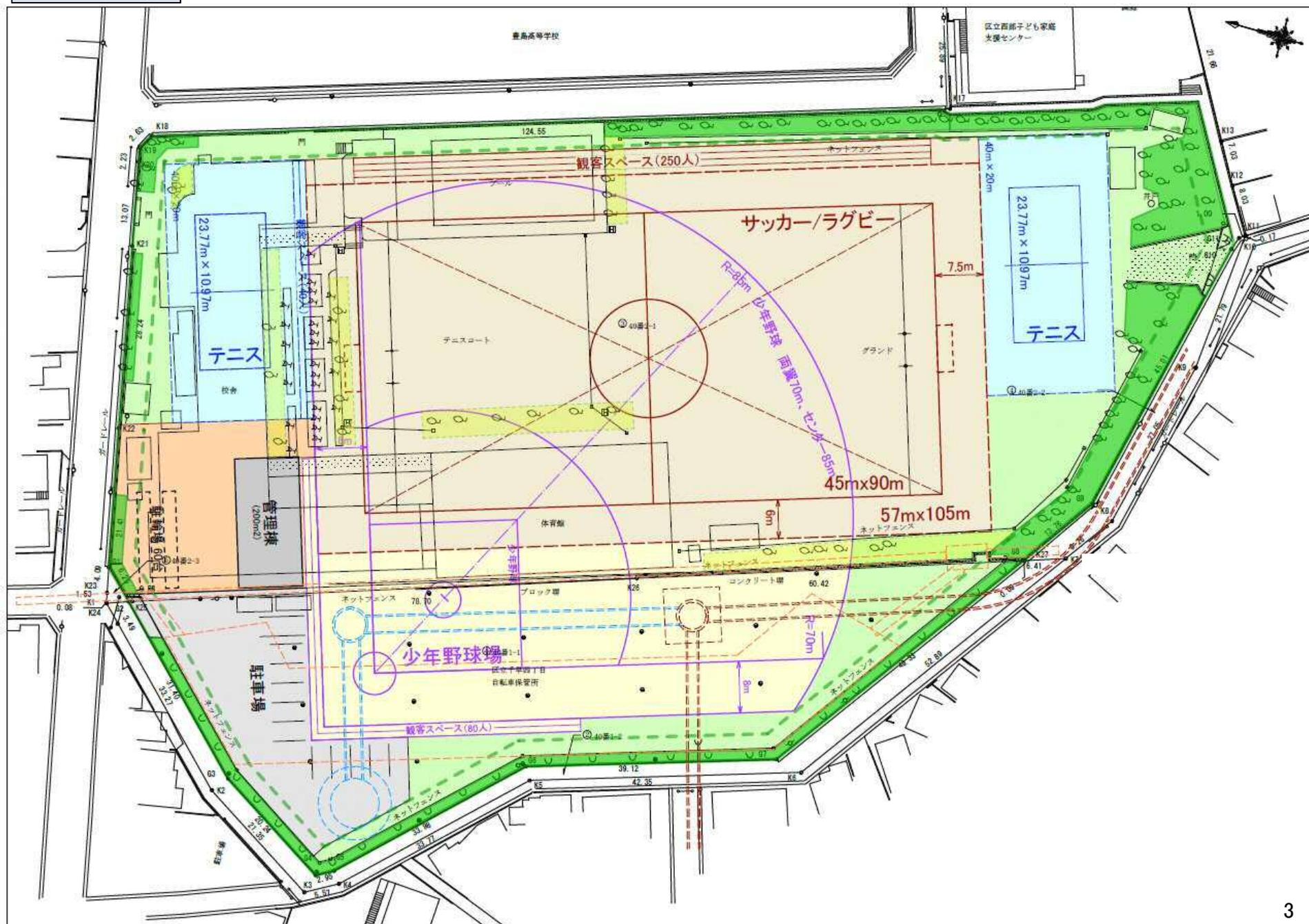
A案



B案



C案



	A案	B案	C案
レイアウト (案)			
導入機能	<ul style="list-style-type: none"> ○サッカー・ラグビー場 <ul style="list-style-type: none"> ・コート90m×45m ・タッチライン等の外側4m、5m ・観客スペースなし ○少年野球場 <ul style="list-style-type: none"> ・両翼70m、センター85m ※レフト方向の85mの確保が困難 ・ファウルライン外側8m ・観客スペース100人 (1塁側) ○テニスコート <ul style="list-style-type: none"> ・2面(隣接)、観客スペース100人 	<ul style="list-style-type: none"> ○サッカー・ラグビー場 <ul style="list-style-type: none"> ・コート90m×45m ・タッチライン等の外側4m、5m ・観客スペース150人 ○少年野球場 <ul style="list-style-type: none"> ・両翼70m、センター85m ・ファウルライン外側12m ・観客スペース80人 (1塁側) ○テニスコート <ul style="list-style-type: none"> ・2面(隣接)、観客スペース60人 	<ul style="list-style-type: none"> ○サッカー・ラグビー場 <ul style="list-style-type: none"> ・コート90m×45m ・タッチライン等の外側6m、7.5m ・観客スペース250人 ○少年野球場 <ul style="list-style-type: none"> ・両翼70m、センター85m ・ファウルライン外側8m ・観客スペース80人 ○テニスコート <ul style="list-style-type: none"> ・2面(分散)、観客スペース40人
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート2面が隣接して設置され利便性を確保 ・テニスコートの方位を南北方向とすることが可能 ・駐車場を広く確保することが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー・ラグビー場、少年野球場として十分なスペース、観客席の確保 ・テニスコート2面が隣接して設置され利便性を確保 ・テニスコートの方位を南北方向とすることが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー・ラグビー場、少年野球場として十分なスペース、観客席の確保
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球のセンター85mの曲線がレフト方向で確保できない ・サッカー・ラグビー場の観客スペースなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートへの動線が悪く、管理棟からも遠く不便となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートが分散し、一方のコートが管理棟から遠く不便となる ・テニスコートの方位が南北方向ではなく東西方向となる

※いずれの案においても今後予定されている下水道局工事の期間中は野球場を閉鎖する必要あり

3案比較

機能	A案	B案	C案
■ サッカー・ラグビー			
・コートサイズ	45m x 90m	45m x 90m	45m x 90m
・タッチライン外側※1	4m	4m	6m
・ゴールライン外側※2	5m	5m	7.5m
・観客スペース	無し	150人	250人
■ 少年野球			
・両翼、センター※3	70m	70m - 85m	70m - 85m
・ファウルライン外側※4	8m	12m	8m
・観客スペース	100人	80人	80人
■ テニスコート			
・コート数	2面	2面	2面(分散)
・方位※5	南北	南北	東西
・観客スペース	100人	60人	40人
■ 管理棟、建築面積	200㎡	200㎡	200㎡
■ 駐輪場	60台	60台	60台
■ 駐車場	19台	11台	12台
■ 緑化面積 (8%以上)	1,200㎡以上	1,200㎡以上	1,200㎡以上

※1：規定無し。2002年日韓W杯では6m。通常は4m程度。

※2：規定無し。2002年日韓W杯では7.5m。通常は5m程度。

※3：（財）全日本軟式野球連盟では、両翼70m、センター85m。日本リトルリーグ野球協会では、両翼60.96m以上。

※4：（財）全日本軟式野球連盟では、12m。日本リトルリーグ野球協会では、本塁よりバックネットまで7.62m。

※5：規定無し。西日の影響を避けるため、南北が多い。